



城端むぎや祭 麦屋節城端伝来100年を迎えた年に

校長 高田 篤志

9月14日に「第73回城端むぎや祭」が盛大に行われました。本校の4年生は、そのオープニングに「じゃんとこいむぎや」を披露しました。善徳寺特設ステージでの発表では、先輩たちから引き継いだ伝統の踊りを、また善徳寺前交差点での発表では、桜やギフチョウ、曳山等、城端の魅力を振付けに盛り込んだ今年度のアレンジバージョンの踊りを披露しました。

春の曳山祭（宵祭）での曳山賛歌「城端祭」の披露に続き、「観光客の皆さんを楽しませたい！」「城端のよさを広めたい！」などといった願いのこもったすばらしい発表になりました。

今年は特に、城端に麦屋節が伝わって100年という記念すべき年となりました。このような年に参加ができた4年生にとっては、一生思い出に残る、記念すべき「じゃんとこいむぎや」になったことでしょう。

ダイナミックな動きやにこやかな笑顔で発表できた子供たちに大きな感動をもらうとともに、周りで盛り上げていただいた協賛会をはじめ、多くの観客の皆様への感謝の気持ちでいっぱいになった一日でした。

子供たちの感想から

- 初めに練習したころは、難しくて無理だと思ったけれど、休み時間も使って練習した結果、ずいぶんうまくなって、おどることが楽しくなってきました。祭りの当日は、楽しみで、早くおどりたいとわくわくしながら待っていました。おどっているときは、自然に笑顔になりました。本当に楽しかったです。毎日練習したかいがあったなと思いました。見ているお客さんも笑顔で、楽しい思いが、みんなに伝わってよかったと思いました。
- 夏休み中にもいっぱい練習しました。当日は、きんちょうしたけれど、これまでいっぱい練習したおかげで、成こうしました。おどりがうまくなってきたし、大きな声も出せて、うれしい気持ちになりました。これからの下級生にも、がんばってほしいなと思います。
- 当日は、たくさんの人がいて、成こうするのか心配になりました。でも、「こんにちは〜!」とみんなで大きな声であいさつをしたら、はく手をしてくださって、元気になりました。さい後の決めポーズをしたとき、笑顔になった人や「よかったよ〜!」と言ってくださる人がたくさんおられて、とてもうれしく思いました。学習発表会でも、すばらしいおどりを見せたいです。

